

# 英語統一試験(TOEIC Bridge IP)受験について

## 1. 受験日時・会場・開始時間

**2019年11月13日(水) 15:00~17:00(15:00開場、15:20開始)**

<京田辺>

音楽学科：C402

社会システム学科【学籍番号 2119001~2119120】：C283

社会システム学科【学籍番号 2119121~2119200】：C183

社会システム学科【学籍番号 2119201~2119286、2~4年次生】：C131

<今出川>

日本語日本文学科：R401

人間生活学科：R001

**2019年12月11日(水) 15:00~17:00(15:00開場、15:20開始)**

<京田辺>

メディア創造学科：C131

現代こども学科：C122

医療薬学科：C183

看護学科：C482

<今出川>

食物栄養科学科：R401

**《注意!》再履修者は自分の所属する学科の日時・教室で受験してください。**

(履修登録しているクラスの学科ではなく、自分の所属学科(例:音楽学科の学生なら音楽学科)の日時・教室で受験してください。)

## 2. 当日持参物

学生証・筆記用具(HB程度の鉛筆・消しゴム)・時計(携帯電話不可)

## 3. 注意事項

- (1) 15時00分より開場し、15時20分より試験説明を始めます。  
15時20分までに必ず着席しておいてください。
- (2) 座席に指定はありません。前方から隣をひとつ空ける、定期試験形式で着席してください。
- (3) 試験中、途中休憩はありません。
- (4) リスニング試験から開始するため、遅刻者は入室・受験できません。
- (5) 原則、受験日および受験キャンパスの変更はできません。受験がどうしてもできない場合は、10月25日(金)18時30分までに、教務課に受験日又は受験キャンパスの変更を相談してください。ただし、個人的な理由での変更はできません。
- (6) 試験の欠席は認められません。ただし病気等、原則として定期試験の「追試験事由」に該当する理由による欠席の場合のみ、振替試験(2020年1月8日(水)を予定)の受験が可能です。試験日以後、3日以内に教務課まで申し出てください。振替試験の申請には、欠席理由が分かるもの(診断書など)が証明として必要となります。(履修要項の「追試験」の項目を参照すること。)また、11月13日(水)受験予定者が上記の理由により欠席した場合に、12月11日(水)へ受験日を振り替えることはできません。
- (7) 振替試験は2020年1月8日(水)にのみ予定しております。振替試験の振替試験はありません。
- (8) 指定日時以外に受験したものを、英語統一試験のスコアとして扱うことはできません。
- (9) 裏面に、4月に配布済の案内を掲載しています。再度、熟読するようにしてください。  
(再履修者には別様式の案内文書をすでに本学HPに掲載済みですが、裏面の新入生用案内を参照してください。)
- (10) その他、質問等がある場合は各キャンパス教務課までお問い合わせください。

## 英語統一試験 (TOEIC Bridge IP) 受験について

**対象：学芸学部(音楽学科、メディア創造学科)、現代社会学部、薬学部、看護学部、表象文化学部(日本語日本文学科)、生活科学部**

英語の1年次必修科目である「Comprehensive English II」「Communication in English II」では、授業の一環として本学内で行う英語統一試験 (TOEIC Bridge IP) の受験が全員必須となっています。以下の案内を熟読し、正しく受験してください。

### 1. TOEIC Bridge とは

TOEIC(Test of English for International Communication)は、米国非営利テスト開発機関ETS(Educational Testing Service)が開発・制作しているテストで、英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストです。TOEIC Bridge は英語学習中級者までを対象とした、日常生活における活きたコミュニケーションに必要な"英語で聞く・読む能力"を測定するテストです。TOEIC と比べてビジネスの要素を省き、日常的なシーンにおける英語コミュニケーション能力の測定を主とする点が特徴で、企業や大学などでのレベルチェックなどに幅広く利用されています。

### 2. 春学期 (入学当初) と比較して英語運用能力を測ることができます

入学直後に英語プレイスメントテストとして TOEIC Bridge を受験します。秋学期の英語統一試験でも TOEIC Bridge を受験するため、春学期から秋学期にかけて英語運用能力がどれだけ身についているか測ることができます。英語運用能力の伸びを実感することで、さらなる英語学習へのモチベーションアップにもつながります。

### 3. 受験日時等の概要 (詳しくは秋学期開始後、掲示および授業内で周知します。)

#### ○日時 (予定)

音楽学科・社会システム学科・日本語日本文学科・人間生活学科

**2019年11月13日(水)4、5講時**

メディア創造学科・現代こども学科・医療薬学科・看護学科・食物栄養科学科

**2019年12月11日(水)4、5講時**

#### ○場所

各所属学部学科のキャンパス

#### ○注意事項

- ・生協が11月と12月に実施する団体特別試験 TOEIC Bridge を受験します。大学で一括して申し込むので、生協が実施する11月と12月の TOEIC には対象者は各自では申し込まないでください。
- ・受験料は無料です。全額、本学が補助します。(上記科目の一環として指定日に受験した場合に限る。)
- ・指定日に受験しなければなりません。許可なく指定の日時以外で受験した場合は、受験料を補助しません。また、許可なく指定日時以外に自費で受験したとしても、統一試験のスコアとしては受け付けません。

#### 4. 成績（スコア）の取扱い

##### (1)科目成績に算入します

- ・TOEIC Bridge の Reading の成績は「Comprehensive English II」の成績に、Listening の成績は「Communication in English II」の成績に、それぞれ1割の比率で算入されます。

受験しなかった場合、この成績部分は0点となりますので注意してください。

##### (2)2年次英語科目のクラス分けに使用します

- ・Reading の成績は2年次の「Comprehensive English III, IV」の、Listening の成績は「Communication in English III, IV」のクラス分けにそれぞれ使用します。いずれも「Comprehensive English III, IV」、「Communication in English III, IV」が設置されている学科のみが対象となります。
- ・社会システム学科については、「Academic Reading and Discussion I, II」のクラス編成に使用します。ただし、CASE Program のクラス分けは、学科独自の基準によります。

##### (3)成績は通知します

- ・TOEIC Bridge の成績表（スコアカード）は、受験者個人に返却します。学習計画の参考にしてください。個人が特定できる形での成績の公表はしません。

##### (4)成績の分析を行います

- ・平均点の分析等により、より良い指導の実現を図ります。

#### 5. 留意事項

- ・指定通りに受験しなかった場合は「Comprehensive English II」「Communication in English II」の成績の1割の部分が0点となり、科目が不合格となることがあります。
- ・「Comprehensive English II」「Communication in English II」が不合格になり、次年度以降に再履修する場合には、これらの科目の一環として再度、TOEIC Bridge を受験することになります。
- ・本学では皆さんの英語力向上のために、全学生が利用可能な英語自主学習プログラム『ALC NetAcademy Next』『スーパー英語』を導入しています。学内外のパソコンからアクセスして自分のペースで学習を進めることができる、非常に効果の高い優れたプログラムです。ぜひ積極的に利用してください。（利用方法については、授業での配布資料または本学ホームページを確認してください。）